

行政報告

Pick UP



たくさん参加していただきました

◇クリーンキャンペーン

9月23日に約4,700人が参加し、瀬野川などの河川を中心に町内全域で実施しました。空缶などのごみが一掃され、大変きれいになりました。

◇ご長寿をお祝い

9月の「敬老の日」に合わせて、75歳以上2,151人の皆さんに、心ばかりの敬老祝品をお送りしました。

◇全国学力学習状況調査

平成19年4月に文部科学省が実施した調査結果が10月18日に公表されました。全国平均と大きな差はなく、むしろ良好かと思っています。

◇職員の企業への派遣研修

11月22日から12月4日にかけて「ひろしま夢ふらざ」に、採用2年目の職員3名を1週間ずつ派遣し、接遇研修を行いました。

◇南小学校で防災訓練

11月18日に約300人が参加し、避難誘導、初期消火、自動体外式除細動器（AED）の使用訓練などを行いました。



初期消火が大事です

補正予算

海田市駅のバリアフリー化に 1,270万円

Q 財源の内訳はどうなっているのか。

A JRが行う事業費のうち、現在のところ県が530万円、町が740万円を地元負担金として支出する予定。県が負担する金額は、補助金として町に入る。

Q この予算は何に使うのか。

A プラットホームへのエレベーターの設置など、駅のバリアフリー化のための経費として使われる。

Q 今後の予定は。

A 平成19年度中に実施設計を行い、平成20年度から事業に着手する予定。



段差も改善されます

公共施設整備の基金に 1億5,200万円

Q この財源は何か。

A 土地開発公社の解散に伴い、清算した残余財産。

Q 今後の使用目的は。

A 公共施設整備基金に積み立て、公共用または公用施設の新増設等の建設事業を行うための資金となる。

議会改革

委員会提出議案を全会一致で可決

議員の質問に対して

趣意を確認できるようにする

本会議または委員会に説明員として出席している町長等が、議員の質問あるいは質疑の内容を正確に把握すること、より的確な答弁を行うことができる場合があります。

このような場合に限り、説明員が議長の許可を得て、当該議員の質問や質疑に対しその趣意を確認することができるよう、会議規則の改正を全会一致で可決しました。



地区計画制度とは、その地区にふさわしい魅力あるまちをつくるために、地区の特性に応じて、地元の皆さんの意見を取り入れながら、皆さんと共にまちづくりの方針とルールを定めるもので、都市計画法に基づく制度です。

今議会に条例の制定案が出されました。説明では海田市駅南口地区だけにかかわるものではないとのことでしたが、無記名投票の結果、賛成七・反対八の賛成少数で否決となりました。

十二月定例議会を十二月五日から七日まで開きました。二・三ページでお知らせした議案のほか、条例の制定や改正、補正予算などを慎重に審議した結果、海田町地区計画等の案の作成手続に関する条例の制定については賛成少数で否決、その他の議案については全会一致で可決しました。

海田町地区計画等の案の 作成手続に関する条例

賛成 7 : 反対 8
否 決

町長は新庁舎の建設に関し、庁舎建設特別委員会の結論や町民の意見に従うと言いつつ、駅前が最適であると表明しており矛盾している。

この条例の制定は、駅前に庁舎を建設することが前提となっており、まちづくりを逆行させるものであるため反対する。

反対

討論

賛成

海田市駅南口土地区画整理事業は十五年間続けたが、結果的には前進も後退もできない状態になった。これを改善するため、町長は事業を縮小する方針を打ち出した。

町民と共にまちづくりを進めるに当たってのルールづくりであり、最大の課題であるため賛成する。